— トスバッティング 第 3 集 —

私の愛した詰将棋の本

一昨年は「トスバッティング 1」，昨年の文化祭では「トスバッティング 2」として，自作の初心向け詰将棋問題集を発行してきました。

かなり易しい問題を集めたのですが，それでも本当の初心の人には詰めるのは難しいようです。

また，簡単に解けてしまう詰将棋では，詰将棋の本当のおもしろさ・素晴らしさを理解することができないと言うのがジレンマです。

そこで今年は，読み物を中心として，名作選を編むことにしました。詰将棋の本を紹介しながら，その本と自分の関わり，その作者について，そして，なかから 1 作ずつ作品を選びました。その結果，1 手詰めから 321 手詰までのバラエティーに富んだアンソロジーになりました。

難しいものはなるべく避けて，私の好みのすっきりした作品を選びましたが，それでも初級の方でも解くのは難しいことだと思います。ですから，この冊子の詰将棋は解くための問題集ではなくて，読むためのものだと心得てください。図面のすぐ後ろに解答を並べましたので，是非，盤に並べて詰手順を追ってみてください。それでも，その作品の素晴らしさは半分以上理解することができるかと思います。そして，気に入った作品があったら，その本を入手してみてください。あなたは，ますます詰将棋の世界の魅力の虜になっていくことでしょう。

なお，この冊子はネット駒音[1]の詰将棋の部屋に連載した文章に加筆訂正したものです。したがって，ある程度の将棋界についての知識を前提にした内容で，なかにはネット仲間向けの文章も残ってしまっていることと思います。その点，ご容赦ください。

勝負勘を養う

詰めと必至

内藤国雄

東京書店 S48

私が初めて手にした詰将棋の本です。これが，信じられないくらい丁寧につくられた本でした。ただの問題集ではなく，講義と演習という形式です。

特に，詰将棋で最初に紹介されているのが，伊藤看寿の図巧第 1 番といえば，詰将棋に詳しい方ならば，そのレベルが御理解いただけることでしょう。

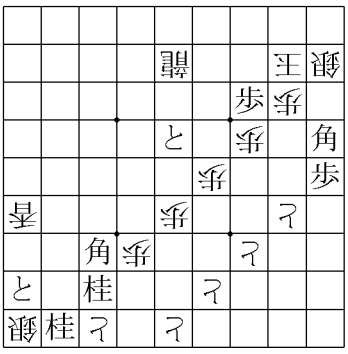
詰将棋も「詰将棋の話あれこれ」「創作法」「詰将棋のできるまで」とあって，その後に「問題集」です。問題集の部分も，一題一題に「ヒント」「棋力判定」がついています。これは珍しくないですが，この本にはさらに「研究」がついていて，「４二歩は ５一とに変えたいのですが，そうすると王方にある駒を一枚加えなければなりません。」「持ち駒角金銀で別の問題になります。」といった，創作のためのヒントがいっぱい書いてあるのです。

最後に紹介する作品は「詰将棋の話あれこれ」のなかで，著者が 12 歳の時に作った詰将棋としてあげている作品です。

ちと長めですが，易しいですから解い

て見ることをお薦めします。

第１番　内藤国雄



持駒　金４

３二歩成，１三玉，２二角成，２四玉，３三馬，３五玉，４四馬，４六玉，５五馬，５七玉，６六馬，６八玉，７七馬，５七玉，６八金，同歩成，６六馬，４六玉，５七金，同歩成，５五馬，３五玉，４六金，同歩，４四馬，２四玉，３三馬，３五玉，４五金，同玉，４四馬，５六玉，５五馬，６七玉，６六馬，７八玉，７七馬，８九玉，９九馬，７八玉，８八と，６七玉，７七と，５六玉，６六と，４五玉，５五と上，３五玉，４五と，同玉，５五馬，３五玉，４四馬，２四玉，３三馬，３五玉，２四銀，同歩，４四馬まで59手詰

やさしい趣向作です。発表された時代を考えると非常に洗練されていることに驚きます。

詰むや詰まざるや
将棋無双／将棋図巧

伊藤宗看／伊藤看寿解説 門脇芳雄

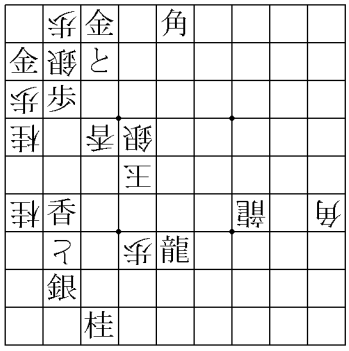
平凡社東洋文庫S50

個人的な話で恐縮ですが，子どもの頃，東京は江東区の深川図書館によく行きました。古ぼけた階段の二階だか三階だかの踊り場に，東洋文庫専用の書棚がありまして，この本はそこで見つけたものです。初めて手にした時の印象が強烈だったせいでしょうか。この本を見つけた薄暗い階段と，窓から見える庭の明るい光がいまだに脳裏にくっきりと残っています。

将棋の家に生まれ，名人襲居の日にそなえて献上図式を作る毎日。この本は，まごうことなく，彼らの青春の記録でありましょう。そして，世界に誇れる日本の文化遺産でもあります。

紹介するのは図巧第１番。手順の解説は本稿の意図と外れますので，いたしませんが，テーマは９二歩の打歩詰打開の手順とだけ申し上げておきます。

第２番　伊藤看寿



持駒　銀歩

５四銀，７五玉，８七桂，８六玉，６六竜，同竜，９五角成，７六玉，７七歩，同竜，同馬，８五玉，１五飛，２五飛，同飛，同角，９五馬，７六玉，２六飛，３六飛，同飛，同角，７七馬，８五玉，３五飛，４五飛，同飛，同角，９五馬，７六玉，４六飛，５六飛，同飛，同角，７七馬，８五玉，８四飛，同玉，９五馬，８三玉，８二金，同歩，７五桂，同香，８四歩，９二玉，８一銀，９一玉，８二と，同玉，７二金，９一玉，９二歩，同角，同銀成，同玉，７四角，９一玉，８二金，同玉，８三歩成，７一玉，６二馬，同玉，６三銀成，６一玉，７二と，５一玉，５二成銀まで69手詰

１六角を４六角に移動させておくことによって，９二歩の打歩詰を解消するという

雄大な構想です。

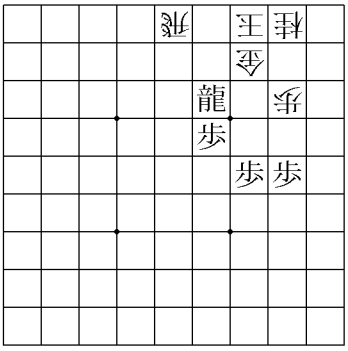
駒と人生

柏川悦夫

詰パラ S38

柏川さんは，すでに50年以上も現役で，しかも常に第一線で活躍しておられる詰将棋作家です。選んだのは第35番。実に自然な実戦型で，且つ捌きだけでない，作家の意志が感じられる一手が含まれています。難しい詰将棋はたくさんありますが，解けた後に煩雑感だけが残るような作品も少なくありません。しかし柏川さんの詰将棋は，解いた後に必ず満足感が残ります。詰将棋っていいなぁ，そう思わせてくれる何かを持っているのです。

第 3 番　柏川悦夫



持駒　角２金

４二角，２二玉，３二竜，同玉，４三歩成，同玉，３四角，３二玉，４三金，２二玉，２三角成，同玉，２四角成，２二玉，２三金，１一玉，３三馬，同桂，１二歩，２一玉，３二金左まで21手詰

王様を逃げ出させるような４三歩成の一手は今の目でみても新鮮です。

あさぎり

―壮棋会作品集―

詰パラ S48

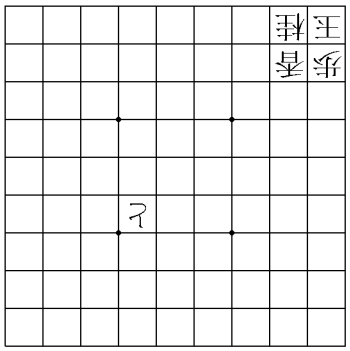
壮棋会とは関西を中心に活躍している詰将棋作家の集団[2]です。この本はその第１作品集です。

21人の作家が，各５局を出品してまとめられています。

短編から長編まで，軽作から難解作まで，実戦型から趣向・条件作まで非常にバラエティに富んだ作品集で，詰将棋の世界の裾野の広大さを私はこの作品集で学びました。

選んだ作品は，第69番。谷向奇龍さんの無仕掛趣向の作品です。

第 4 番　谷向奇龍



持駒　飛角２金銀４桂

２三桂，同香，２二銀，同玉，４四角，３三飛，３一銀，同玉，４二銀，同玉，５一角，同玉，３三角成，同桂，６二銀，４二玉，４四飛，４三桂，５二飛，同玉，５三金，４一玉，４三飛成，３一玉，３三竜，２一玉，１三桂，同歩，２三竜，２二金，３三桂，１一玉，１二香，同金，２一竜まで35手詰

すっきりした初形から序盤は他に手の無い所ですが，もう一度途中無仕掛になると

[2]現在は創棋会と改称しています。

は驚きです。収束もすっきり。

７手詰傑作集

鶴田諸兄:編

詰パラ68号付録

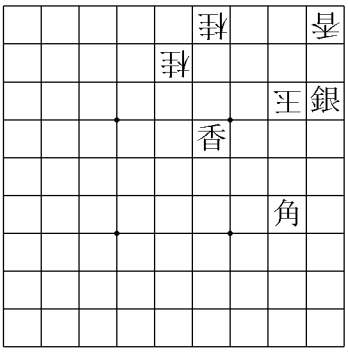
わずか王手4回。それが7手詰です。

その7手詰が，確固としたひとつの世界を作っていると，私に思わせたのがこのアンソロジーでした。

7手で表現できない手筋はほとんどないようです。でも，その手筋を5手で表そうとしたら，無理があり過ぎる。9手では緩みがある。7手詰は，やはり特別な手数のように思います。

もっとも選んだのは，典型的な7手詰とは違った作品です。72番。一一一氏作。(なんて読むのだったけかな？イチハシハジメ？)

第５番　一一一



持駒　飛角桂

３二角，３四玉，３五飛，４四玉，５六桂，５三玉，３三飛成まで７手詰

紅玉

小西逸生

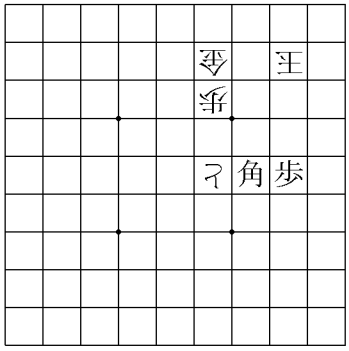
S32詰パラ

短編のお手本は，小西さんと，次に紹介する金田さん。

小西さんは，ちょっと詰将棋にすれてくると，「なんだ手筋物かぁ」と一蹴されそうな大駒の捌き捨てを，大切に大切に表現して見せてくれます。詰ますのは簡単ですが，やはり，いいものはいいと感じさせてくれます。

11手詰です。詰めてみてください。

第６番　小西逸生



持駒　飛２銀

２三銀，３三玉，３四飛，２三玉，２一飛，１二玉，１三角成，同玉，１四飛，同玉，２四飛成まで11手詰

駒を置いておいて，捌き捨てる，１四飛の快感。

金田秀信全作品

金田秀信

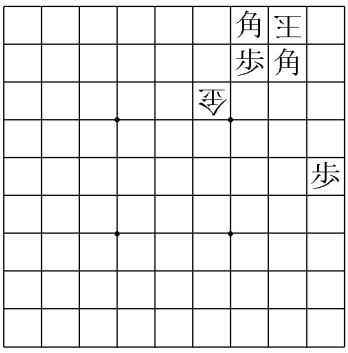
野口文庫S49

金田さんの短編は安心感があります。小西さんの詰将棋よりさらに易しく（優しく？）簡素で,「これでいいの？」なんて思わせたりします。

しかし，作図を試してみればわかるはずです。金田流を真似することは至難なことなのであす。大人の余裕が必要なのです。

選んだ作品は29番の9手詰。

第７番　金田秀信



持駒　金2

１一角成，３二玉，３三金，同金，２一馬，２三玉，１三角成，同玉，１四金まで９手詰

2枚角の構図を極限まで磨き抜いています。

春霞

森田正司

詰パラS46

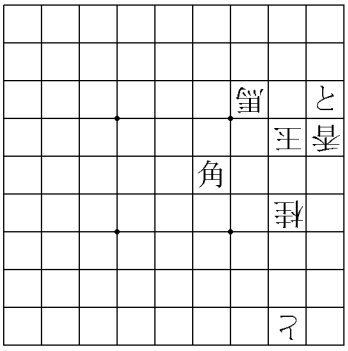
現在は評論や詰棋書の編集で有名な著者ですが，これは，氏がばりばりの作家だった頃[3]の作品集です。この作品集，もっともっと評価されてしかるべき内容を持っていると思います。現代詰将棋の原石がいっぱい詰まった作品集なのです。

例えば，短編構想作に関しては，北川邦雄氏はこの「春霞」を出発点にしたとしか思えません。有名な「森田手筋」もこの作品集に収められています。

「7手詰」「機能美」「実戦型」「入玉図」「不利感」「打ち歩詰の新手筋」「中合」「変則合」「曲詰」「趣向」「双玉」それぞれをテーマに5局ずつ収録されていますが，このタイトルを見ただけで，その後の20年間の詰将棋作家の開発してきた道筋がみえるような気がしてきませんか？

紹介するのは第21番。何度見ても，本当にうまくできていて，ため息が出る作品です。余詰防ぎの２九とがなければ，傑作を通り越して名作と呼んでしかるべきですが，そこまでは神の御加護がなかったようです。

第８番　森田正司



持駒　金2銀香

２五香，１五玉，１四と，１六玉，１七銀，２五玉，１六銀，同玉，１七香，同玉，１八金，１六玉，３四角，同馬，１五金まで15手詰

初手に打った香が３四角を邪魔しているので，これを消去するという見事なストーリーです。

[3]こういうこと書くと叱られるかな？「春霞2」の話もきいたことありますが.....

煙

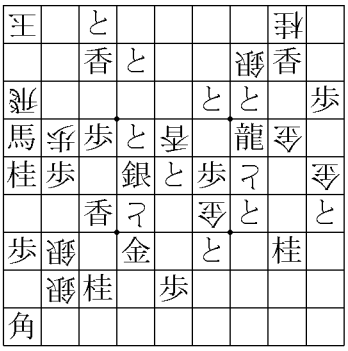
煙詰研究会

詰パラ S42

煙詰ばかりを，その第46号局まで網羅したアンソロジーです。その後，新ケ江さん達が「煙2」をガリ版でだしてから，もう10年以上もたちます。どなたか,「煙3」の編集をしてくれないでしょうか。(のちに煙2をもとに飯田岳一さんが，リコピー版で「続けむり」をだしました。)

最近の煙詰を見慣れた目からは，このアンソロジーは物足りない作品が目につくかもしれません。実際私も，どの図面を選ぶべきか，正直な所，悩みました。第2号局の「落花」(黒川一郎)，初めての小駒煙「嫦娥」(黒川一郎) も考えたのですが，結局，元祖「煙詰」，伊藤看寿を紹介します。

第 9番　伊藤看寿



持駒　なし

８一と ,同玉 , ７一香成 , ９一玉, ８一成香 ,同玉 , ７二と , ９一玉, ８二と ,同玉 , ７三歩成 , ９一玉, ８二と ,同玉 , ７三と , ９一玉, ８二と ,同玉 , ７二香成 , ９一玉, ８二成香 ,同玉 , ９三馬 ,同玉, ７三飛 , ９四玉 , ８三飛成 , ８五玉, ８四竜 ,同玉 , ５四竜 , ９五玉, ９六香 ,同銀成 ,同歩 ,同玉, ８七銀 , ９七玉 , ９四竜 , ８七玉, ８五竜 , ７八玉 , ８八竜 , ６七玉, ６八銀 , ５八玉 , ５七銀 , ４七玉, ４六と , ５七玉 , ５六金 ,同と,同と引 , ６七玉 , ７六銀 ,同玉, ６六と ,同玉 , ７七竜 , ６五玉, ５五と ,同玉 , ６六竜 , ４五玉, ４四と ,同玉 , ５六竜 , ５五歩,同竜 , ３三玉 , ５三竜 , ３四玉, ４四竜 , ２三玉 , ２四竜 ,同玉, １五と , ３四玉 , ４四金 , ２三玉, ２四歩 , １三玉 , ２三金 ,同銀,同歩成 ,同玉 , ３五桂 , １二玉, １三歩 ,同玉 , １四歩 , １二玉, １三銀 ,同桂 ,同歩成 ,同玉, ２三桂成 ,同玉 , ３三金 , １二玉, １三歩 ,同玉 , ２五桂 , １二玉, ２三金 ,同玉 , ３三角成 , １二玉, １三桂成 ,同玉 , ２四と , １二玉, ２三と , １一玉 , ２一香成 ,同玉, ２二馬まで117手詰

序盤は７六香の邪魔駒消去，中盤の１歩稼ぎ，終盤の美しく細やかな捌き。どこをとってもみごとな名作です。

山中龍雄作品集

山中龍雄

詰パラ S51

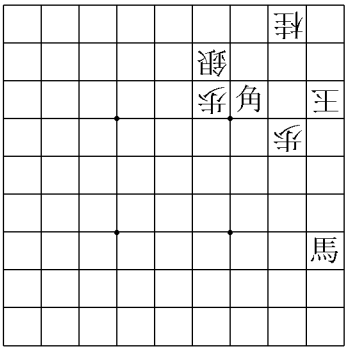
山中氏は解答・創作ともにたいへんな活躍をした方だと聞いていますが，残念ながら私が詰将棋に目覚めた頃には，すでに詰将棋界から去られた後だったようで，私はこの作品集を通してしか，氏について知りません。

解く気がなくなるような難解・煩雑作はなく，形を極限まで磨かれた鮮やかな手順の作品が多いです。余詰防ぎの玉方「と」など，100 局中配置されているのはただ一つ。その作品は「飛金3」の持ち駒を狭い所で，連続に捨駒すると言う狙いの作品で，仕方がないと納得させられる内容です。

今回は，2局紹介させていただきましょう。30番は余詰防ぎの駒は，４三歩の1枚のみ。69番にいたっては，作意に関係しない駒は，1枚もありません。それでも，これだけの鮮やかな手順を表現できるのですから素晴らしいです。

この作品集には15手以下の短編のみ100局が収められています。中編・長編の作品集もまた別に纏められる予定だったようですが，いまだ実現はしていません。まったく残念なことです。

第 10 番　山中龍雄

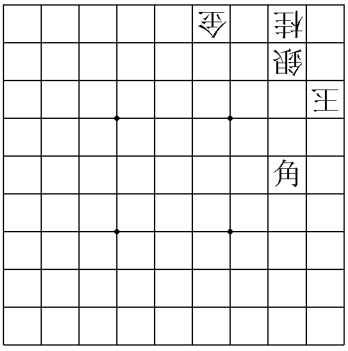


持駒　金3

１二金，１四玉，２五金，同歩，１三金，同桂，２四金，１五玉，１三金，３三銀，２七桂，２四玉，３五馬まで13手詰

打った金を再活用する１三金の味。収束も鮮やか。

第 11 番　山中龍雄



持駒　飛銀桂

１四飛，２三玉，３五桂，３二玉，３三銀，同銀，１二飛成，２二飛，４三角成，３一玉，２三桂不成，同飛，２一馬，同飛，４三桂まで15手詰

間駒で出現した飛車の翻弄。

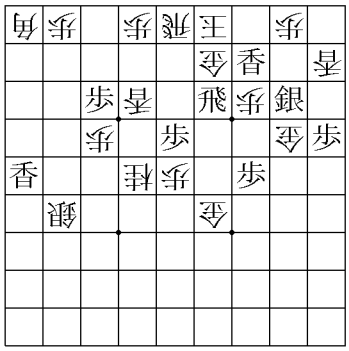
昭和詰将棋選集

松田茂行七段:選
将棋研究会S23

北村研一氏に「九十九谷集」という作品集があるのですが，残念ながら私は持っていないのです。そこで，この本から紹介することにしました。

この「昭和詰将棋選集」も，伊藤三雄氏の蔵書を森田正司氏が筆写した物のリコピー版です。それも日焼けしてきて，だんだん読めなくなってきてしまいました（;_;）。著作権の問題はありますが，過去の作品をもっと手軽に鑑賞できるようになってほしいものです。現在，詰将棋のデータベース作りの計画が門脇さんを中心に進んでいます[4]が，期待したいです。

第 12 番　北村研一



持駒　角金桂2歩2

３一香成，同玉，４一金，同飛，４二飛成，

[4]現在，NEC 製のパソコンでは動きだしているようです。

同玉，３一角，５一玉, ５二金，同玉，５三歩成，５一玉, ４三桂，同飛，５二歩，４一玉, ３二銀成，同玉，４三と，同玉, ４一飛，４二歩，同飛不成，５四玉, ６六桂，６四玉，４四飛不成，７三玉, ７四飛，８二玉，８三歩，同玉, ８四歩，８二玉，６四角成，同香, ９二香成，同玉，７二飛成，８二角, ８三歩成，９一玉，８二竜，同歩, ９二歩，８一玉，６三角，７一玉, ７二角成まで49手詰

生飛車での追い回しと，豪快な序盤。

将棋魔法陣

二上達也九段

野口文庫S49(改訂版)

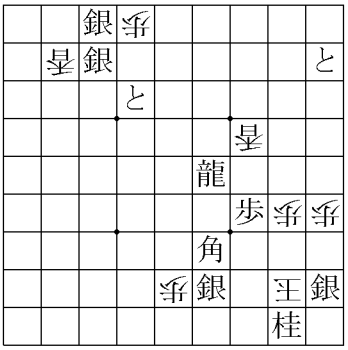
前局が「不成」のテーマだったので，次に紹介するのは，「不成81番」の「将棋魔法陣」です。81なのは，タイトルが示すように，初形の玉位置にその問題番号を書き込んで行くと，魔方陣[5]ができるという趣向です。

不成の手筋が全局に織り込んであるのも，一つの趣向ですが，全てテーマが「不成」というわけではなく，主題が終わった後に，無理矢理 (?) 不成を詰め込んだという雰囲気の作品もあります。

この本には，私が鑑賞した時の書き込みがなくって，選局には，著者自身の後書きを参考にしました。

[5]Magic square の翻訳ですから，魔-方陣が正しいのですが，著者はあえて，魔法-陣というタイトルにしたそうです。

第 13 番　二上達也



持駒　角歩

７三角，３七歩，同角不成，１八玉, １九歩，２七玉，３八角，同玉, ３九銀，２九玉，３八銀，同玉, ４八竜，２七玉，２八歩，１七玉, １八歩，同玉，２七歩，同玉, ２八竜，３六玉，２六竜，４五玉, ４六竜，５四玉，５五竜，４三玉, ５三竜，３二玉，２二と，同玉, ５五角，３一玉，３二歩，同玉, ３三竜，４一玉，５二と，同玉, ６一銀不成，同玉，６三竜，７一玉, ７二歩，８一玉，８二角成，同玉, ８四香，９二玉，８三竜，９一玉, ８二竜まで53手詰

不成の終わった後の龍の回転が楽しいです。

将棋評論（上）

野口益雄

野口文庫S52

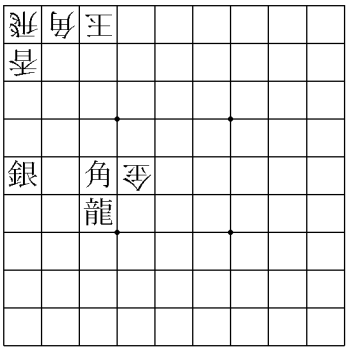
野口益雄氏が「春秋」「近将」「将世」などの詰将棋欄に書いた解説から選ばれ纏められた本です。

詰将棋に初めて接する場合，その解説が果たす役割はとても大きいものがあります。私もこの本の解説を読んで，野口氏の詰将棋観に大きく影響されました。

それにしても，野口氏の誉め上手は素

晴らしい。解説者の一番の資質は誉め上手であることではないでしょうか。

第 14 番　浮寝鳥



持駒　桂

５三角不成，８二玉，７一角不成，８三玉，８四銀，９四玉，８六桂，８四玉，６二角不成，７三歩，同角不成，９三玉，９四歩，８三玉，７四竜，７二玉，５一角成，８二玉，７三竜まで 19 手詰

どこにも歩が無い所から不成不成と追いかける。その歩の入手も中合で。

趣向詰将棋名作選

詰将棋研究会:編

詰パラ S55

解説が新しい詰将棋作家の詰将棋観を作り上げると言う話は，前回書きましたが，この「趣向詰将棋名作選」は盤面趣向の流行をもたらしたと言えるかもしれません。

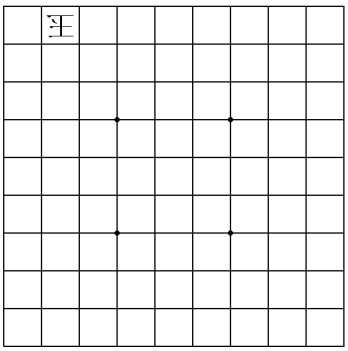
詰パラで，新田道雄氏が「一色図式[6]」というのを流行させたのが，この潮流の始まりでしたでしょうか？「七色図式[7]」というのも流行しました。最近は,「対子図式[8]」なんてのを称して喜んでいる向きもいます。

そして，その条件作の流行に反旗を翻し,「詰将棋の本流は謎解きにあり」と数々の傑作で登場したのが般若一族でありました。

どなたか，詰将棋の歴史をおもしろく書いてくれる人はいないかなぁ。

3局，紹介します。最初は盤面がこれ以上スッキリという詰将棋は存在しません。「裸玉」です。

第 15 番　岡田秋葭



持駒　飛２金歩

６一飛，７一桂，９一飛，同玉，７一飛成，９二玉，７二竜，９三玉，７三竜，９四玉，７四竜，９五玉，７五竜，９六玉，７六竜，８六歩，８七金，９五玉，８六金，８四玉，８五金，８三玉，７四竜，９二玉，９三歩，８一玉，８二歩，同玉，９四桂，８一玉，９二歩成，同玉，７二竜，９三玉，８二竜まで 35 手詰

駒が余らないだけとなりがちな裸玉ですが，本図は手順も美しい。

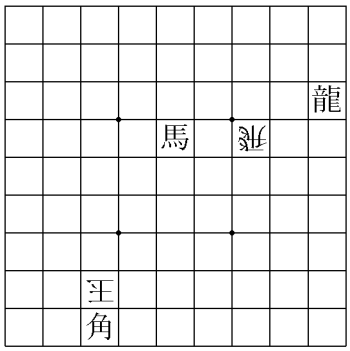
次は，飛角図式。もちろん手順もおもしろく，この初形から馬鋸があらわれます。作者は埼玉大の数学教授。フェアリー詰将棋の大家でもあります。

[6]盤面が玉とあとは同じ種類の駒のみでできている詰将棋

[7]使用駒が玉飛角金銀桂香歩の７枚の詰将棋

[8]使用駒が玉以外２枚ずつの詰将棋（無意味であるﾄｵﾓｳ...）

第 16 番　花沢正純

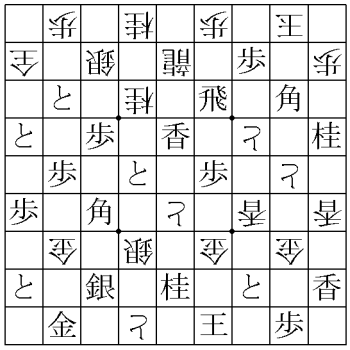


持駒　金香４歩４

７三竜，６九玉，６四竜，７九玉, ８九金，同玉，６九竜，７九金, ４五馬，９八玉，９九香，８七玉, ８八歩，同玉，８九歩，９九玉, ５五馬，８九玉，５六馬，９八玉, ９九香，８八玉，８九歩，９九玉, ６六馬，８九玉，６七馬，９八玉, ９九香，８七玉，８八歩，同玉, ８九香，９九玉，７七馬，８九玉, ７九竜，同玉，７八金，８九玉, ８八馬まで 41 手詰

３局目は壮大な盤面曲詰。この作者はこのような作品を数局発表しています。他にまねてはいません。

第 17 番　工藤紀良「船歌」



持駒　なし

２二桂成，同玉，１二角成，同玉, １六香，１五角，１四香，２二玉, １三香成，３二玉，２三飛成，３一玉, ３二歩，４二玉，５二香成，同玉, ４三竜，同玉，５四と，３三玉, ２三飛，４二玉，４三と，５一玉, ５二と，同玉，４三角成，５一玉, ６一馬，同玉，７二と，同玉, ７三銀，７一玉，８三桂，同成銀, ７二銀成，同玉，８三と，同玉, ６三飛成，９四玉，９五銀，８五玉, ７七桂，同金，８六銀，同玉, ７七銀，同玉，８八金，６八玉, ７八金打，５七玉，６七金，同と, ４七と，同玉，４六金，５七玉, ６六銀，６八玉，７七銀，７九玉, ８九金，同玉，８三竜，９八玉, ８八竜まで 69 手詰

三桂の詩

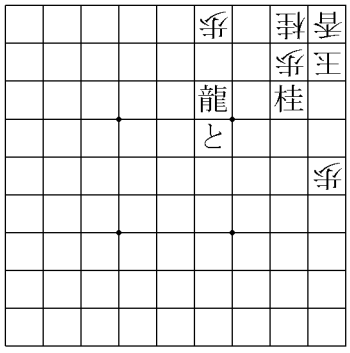
岩井則幸

詰パラ S55

三桂小僧さんの遺作集です。編者は塩沢雅夫さん。塩沢さんの情熱に溢れた，読み甲斐のある活き活きとした本になっています。

遺作集であるので，すべての作品が収録されています。余詰作も含めて，すべての作品を収録するというのは，著者にとってみれば，非常に恥ずかしいことだと思いますが，読者から見ると，著者の進歩，変化が窺えて，面白く勉強になります。

第 18 番　岩井則幸



持駒　角金

１一桂成，同玉，１四香，１二角, 同香成，同玉，３四角，２三香, 同角成，同歩，１四香，１三桂打, 同香成，同玉，３一角，２二桂, 同角成，同玉，１四桂，１三玉, ２四金，

同玉，３四竜，１三玉，２五桂，１二玉，３二竜，１一玉，２二竜まで29手詰

間駒間駒の連続部分が読みごたえのある作品です。

嬉遊曲

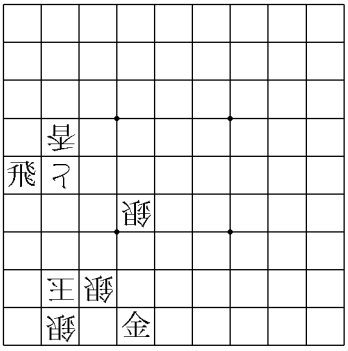
吉田健

将棋天国S53

入玉の超短編，銀不成の吉田健さんです。手順の組み立て方，変化の作り方，駒配置。一時代を築いた吉田流は，解く分にはとても易しく，非力な私でも，駒を並べなくても解決できます。しかし，吉田流の目指した，超短編の味は指先から伝わるもののようです。

捨て駒は，盤に並べて味わいましょう！

第 19 番　吉田健



持駒　角２金銀

９七角，９八玉，８七銀，同銀不成，９九金，同玉，８八角，同玉，９九角まで９手詰

不成で取る所が，味わいを深めています。

小夜曲

吉田健

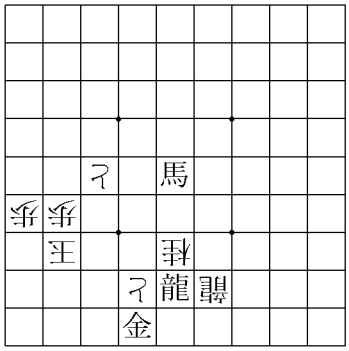
将棋天国S55

「嬉遊曲」から，わずか1年で，第2作品集が出版されたことには，驚き，そして喜びました。

「嬉遊曲」は，作品集の構成自体，私の感覚ではやや凝り過ぎに思える所もありましたが，こちらはぐっと肩の力が抜けた軽くて洒落た仕上がりです。どちらかを購入されるのなら，個人的にはこちらがお薦めです。（私自身は「小夜曲」は2冊購入しました。「嬉遊曲」は1冊（^^;）。）

作品も，なぜか私には第2作品集の方が，好きな作が多いのです。不思議です。

第 20 番　吉田健



持駒　角金

７八金，同と，８八金，同と，９八角，同と，６七竜まで７手詰

守備駒の翻弄。変化のある捨駒でつなぐ所が創作のコツです。

詰将棋三十年

柴田昭彦

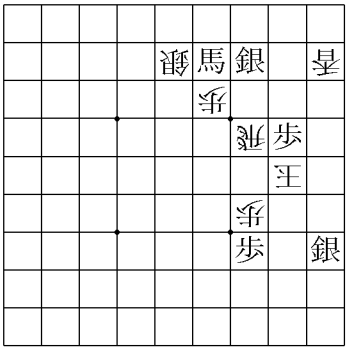
詰パラ S55

詰パラの紙面では，吉田氏とコンビを組んで活躍しておられた柴田氏。文章では，吉田氏の方が抜群にうまいのだけれど[9]，私は柴田氏のキャラクターが好きです。面識はありませんが，なんとも，謹厳実直な人柄を感じさせてくれる文章を書きます。

作品集のタイトルも，江戸川乱歩のファンであるということで，「詰将棋三十年」，形式は「春霞」方式が理想と考えているということで，森田氏の諒解を得たとのこと。……こういうところが，なんとなく好きです。

紹介する作品は，著者自身はナンバー３と自負されているものです。

第 21 番　柴田昭彦



持駒　飛香

４五飛，３五角，２六香，１四玉，２三銀不成，１五玉，３五飛，同飛，１四銀成，同玉，３二角，２三歩，同角成，１五玉，１四馬，同玉，１五歩，同玉，２三歩成，３三角，同馬，同飛，２四角，１四玉，１三角成，同香，２四と，１五玉，２五とまで 29 手詰

[9]柴田先生ごめんなさい。

狭い王様なので易しいが，出るべきものは皆出てきます。詰め上がりも理想的。

凌雲

壮棋会第 2 作品集

詰パラ S54

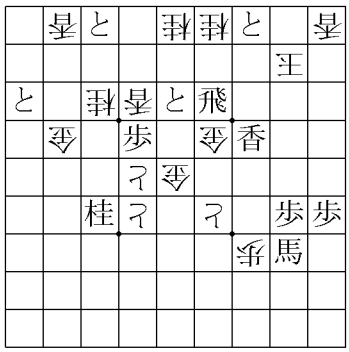
「あさぎり」に続く，壮棋会の第 2 作品集です。形式は「あさぎり」 同様 5 局×20 人の 100 局です。

この本からは山本勝士氏を選ぶ予定でした。好きな作家なので，紹介したかったのですが，

「私の作品は意外性のある手筋物が多く，当時それで点をかせいでいたものであるが，ここではそれを一局も選んでいない。なぜなら図を見ただけでゾッとするような悪形であり，解者を苦しめて自分だけが楽しんでいたから。」

……ということで，ちょっと期待外れの選題でした。そこで予定変更し，長谷繁蔵氏を選びました。7 種合の大作です。

第 22 番　長谷繁蔵



持駒　なし

２一と，１二玉，１一と，同玉，１五香，１四歩，同香，１二角，４一飛成，２一銀，２

この連載を勝手に始めさせていただいてから，いつのまにか何冊もの本がなくなっていることに気付きました。
■田辺重信さんの「私と将棋」
これは，図書館から借りて，乏しい小遣いでコピーしたもの。まだ図書館にあるかなぁ。
■野口文庫の「詰棋評論（下）」
読み物中心の，面白い本だったのに。まだ在庫あるかなぁ。
■高柳九段の「新感覚詰将棋」
将棋連盟から出された本です。おそらく絶版だろうなぁ。
この「新感覚詰将棋」には，刺激を受けました。捨駒以外が詰将棋の主題になるんだということと，看寿の図とはまったく違った簡素な図面から意外性を狙った小意気な味が新鮮でした。ところで，のちに，某プロ棋士の作品集に，この「新感覚詰将棋」とまったくの同図を発見しました。そのプロ棋士は，確か，高柳門下……。うーむ。この本の真の著者は某氏だったのか，と納得しました。
しかし，さらにさらにずっと後，ネットとらふの;tume で，某ト〇ロ先生が自作の詰将棋をいくつか見せてくださいました。で，解いてみて，……
あれっ!? この味は「新感覚詰将棋」じゃぁないか。そういえば，ト〇〇先生って高柳……。
…というわけで，結局先の納得は自信がなくなってしまいましたﾄｻ(^^;) 。

三桂，２二玉, ４二竜，２三玉，３三香成，１四玉, ４四竜，３四金，１五歩，同玉, ２五金，同金，１六歩，同金, ５五竜，２四玉，２五竜，３三玉, ４四金，同玉，２四竜，５三玉, ３三竜，４三飛，６三歩成，同桂, ５四香，６二玉，６一と，同玉, ３一竜，４一桂，同竜，同飛, １六馬，３四香，同馬，同角, ７二金，同玉，８四桂，同香, ６二金，同玉，７四桂，７二玉, ８二と，６一玉，６二香まで59手詰

手順を追うと飛角金銀桂香歩の７種類の間駒が出てきます。これが「7種合」です。

白雨

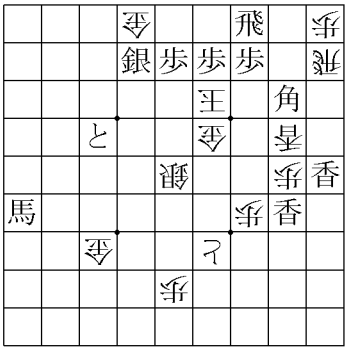
創棋会第３作品集
詰パラ S57

創棋会（壮棋会を改称）の第 3 作品集です。人数が増え，5 局×30 人となっています。作家の藤沢桓夫他，新鮮なメンバーが傑作を多数出品して，内容的には「あさぎり」を越えたと思います。

選題には悩みましたが,「詰将棋の詩」というミニコミ誌では兄貴分として活躍，思い出も多い山本昭一さんを選びました。この人,「詰将棋作家はもてない」という論文を書いたりして,「恋人ができたら，詰将棋なんてやめたるー」と公言していたのですが，本当に密かに結婚してしまい，詰将棋界から姿をくらましています。誰か，祝賀詰も作られたのでしょうが，何処にも発表されていません。

復活されることが強く望まれています。

第 23 番　山本昭一　「二人三脚」



持駒　金銀２香歩２

５三銀成，同玉，６四銀，４三玉，５四銀，同玉，５五銀，同金，４三銀，同玉，３三金，同玉，３五香，２三玉，２一飛成，２二角，同竜，同飛，１四角，１二玉，１三歩，同玉，２五角，２三玉，１四角，１二玉，１三歩，同玉，３六角，２三玉，１四角，１二玉，１三歩，同玉，４七角，２三玉，１四角，１二玉，１三歩，同玉，５八角，２三玉，１四角，１二玉，１三歩，同玉，６九角，２三玉，７八馬，６七歩，１四角，１二玉，１三歩，同玉，５八角，２三玉，６七馬，５六歩，１四角，１二玉，１三歩，同玉，４七角，２三玉，５六馬，４五歩，１四角，１二玉，１三歩，同玉，３六角，２三玉，４五馬，同金，同角，３四歩，同角，３二玉，３三歩，４二玉，４三金，３一玉，３二金，同飛，同歩成，同玉，３三歩，３一玉，３二飛，４一玉，５一歩成，同金，５二角成，同金，３一飛成，同玉，３二歩成まで97手詰

完璧に推敲し尽くされた傑作です。何度でも盤に並べて鑑賞したくなる作品。

金波銀波集

創棋会第４作品集

将棋天国'89

４局×４４人の１７６局が収められた読みごたえのある作品集です。

選んだ１局は，伊藤正くんの煙詰です。山本昭一さんと同じく，「詰将棋の詩」の有力メンバーでした。彼らに「詩」誌上で鍛えられたがために，私もそれなりに詰将棋がわかってきました。

山本昭一さん同様，最近姿をひそめていますが，ペンネームで解答していたり，NIF にも加入しているようですし，近く復活されることを期待しています。

第 24 番　伊藤正 「天女」



持駒　なし

２四飛，同と，１七銀，同歩成，３六竜，１五玉，２四銀不成，同玉，２九香，２八と，同香，３三玉，３二と，同金，３四歩，２二玉，３三歩成，同金，同竜，同玉，３二金，同玉，３一桂成，３三玉，３四歩，同玉，４五と，３三玉，３二成桂，同玉，３三歩，同玉，３四歩，３二玉，４四桂打，同歩，３三歩成，同玉，４四と，３二玉，４二と，同玉，５二香成，同金，同と，同玉，６三桂成，４一玉，５二成桂，同玉，６四桂，同金，５三と，同玉，６四銀，同玉，７三銀不成，同玉，７四歩，６四玉，６五歩，５五玉，５六歩，４六玉，４七歩，３七玉，４八金，２八玉，３八金，同玉，３九金，４七玉，４八金，５六玉，５七金，６五玉，６六金，７四玉，７五金，８三玉，８五香，９三玉，８四金，９二玉，８三金，９一玉，８一香成，同玉，７二金，９一玉，９二歩，同玉，２九角，９一玉，８一金，同金，９二歩，同金，同角成，同玉，８三金，９一玉，８二金まで103手詰

なんとも美しい収束の煙詰です。序盤の２八銀消去に対する２八との移動捨合の応酬も見事。

続・けむり

飯田岳一編

詰パラ S53

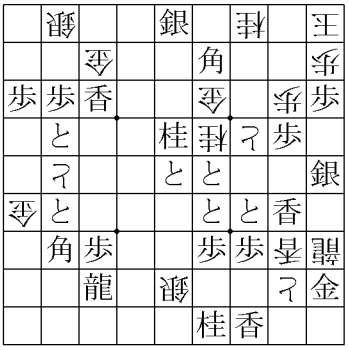
「天女」を紹介しましたので，忘れないうちに，もう一局，煙の名作を紹介したくなりました。

佐々木聡さんの「般若」です。私が初めて購入した詰パラにこの「般若」の解答発表が載っていました。

せいぜい10数手の詰将棋しか知らなかった私が，盤に並べて，手順を追っていった時の驚きを，皆さんご想像できますでしょうか。

数年前，詰研の新年会かどこかで，新婚旅行で東京にいらっしゃった佐々木さんにお目にかかりましたが，想像以上に若い方なのでまた驚きました。寡作ですが，出す作品は必ず一流品。

第 25 番　佐々木聡「般若」



持駒　なし

１二歩成，同玉，２三歩成，同桂, 同香成，同玉，３四と，同金, ２四歩，１二玉，１三歩，同玉, ２五桂，同金，１四歩，１二玉, ２三歩成，同玉，２四銀，同金, 同角成，同玉，３五と左，１四玉, ２四金，１五玉，２五金，１六玉, ２六金，同竜，同と，同玉, ２一飛，３五玉，３六歩，同桂, 同香，同玉，２七金，同と, ４八桂，４七玉，２七飛成，４八玉, ３七竜，４九玉，５八竜，同玉, ５九歩，４九玉，５八銀，５九玉, ３九竜，５八玉，５九香，６七玉, ３七竜，６八玉，４八竜，７七玉, ７八竜，８六玉，８五と，同玉, ９六角，９四玉，７四竜，８四歩, ８五角，９三玉，９四歩，９二玉, ８二金，同金，同歩成，同銀, ９三金，同銀，同歩成，同玉, ９四銀，９二玉，８三銀成，９一玉, ８二成銀，同玉，８四竜，８三飛, ７二香成，９一玉，９二歩，同玉, ８三竜，同玉，８一飛，７二玉, ６三角成，同玉，８三飛成，５二玉, ４二桂成，６一玉，５二成桂，同玉, ５三竜，同玉，５四と，５二玉, ５三と，５一玉，５二とまで111 手詰

収束の美しさ。二度にわたる飛車の遠打ち。ため息が出るような名作です。

月下美人

創棋会第 5 作品集

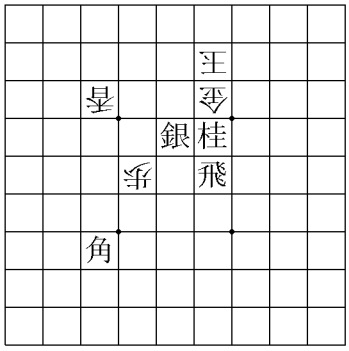
将棋天国'94

順に紹介してきた，創棋会の第5作品集です。 本作品集は今までの形式を変更して，〇〇図式のみの選題となっており，32名の作家が順不同に登場します。

私は，今まで通りの形式の方が楽しめるように思います。内容的にも今までの作品集と比べ，水準が下がっています。

選んだ1局は，詰パラの社長。水上氏の傑作です。

第 26 番　水上仁



持駒　なし

５二桂成，３一玉，４一成桂，２一玉, ２五飛，３二玉，４三銀成，同玉, ２三飛成，５二玉，５一成桂，６二玉, ４四角，７二玉，７一角成，８三玉, ９三馬，７二玉，８三金

，６二玉，７三金，５一玉，６二金，同玉，８四馬，５二玉，５九香，４一玉，２一竜，４二玉，５一馬，４三玉，２三竜，４四玉，６二馬，４五玉，２五竜，４六玉，７三馬，４七玉，２七竜，４八玉，３七馬，４九玉，３八竜まで45手詰

七色図式ということだけでなく，５九香の最遠打。

独楽のかげ

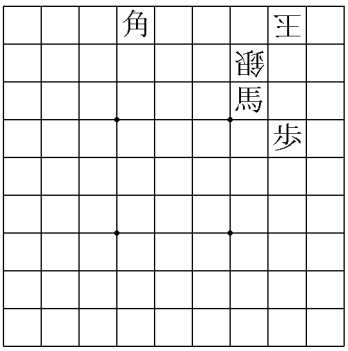
北原義治

野口文庫S54

詰将棋界の大山脈・北原氏の全容は，私の年代ではいくつかの作品集などの断片からうかがうことしかできません。

「独楽のかげ」は「独楽のうた」「独楽のさと」「独楽のたに」に続く第4作品集です。駒効率のすぐれた短編が集められています。

第 27 番　北原義治



持駒　桂香歩

２三香，同銀，４三角成，３二銀打，同馬左，同銀，２二銀，１二玉，２三歩成，同銀，２四桂，同銀，１三歩，同銀，１一銀成まで15手詰

３二銀が5回も動きます。易しいけど可愛らしい作品。

独楽のたに

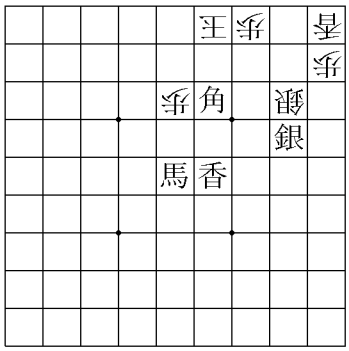
北原義治

野口文庫S53

捌きに関してはその極北を極めたと評される北原氏の第3作品集です。「かげ」と同様，品の良い中編が集められています。

本作品集は，鑑賞すればするほど味わい深いものがあり，紹介したい作品が山ほどあります。その中で選んだのは，どちらかというと，短編の雰囲気の作品です。玉方の駒が，舞台設定に徹しており，捌けないことを言っているのですが，それにしても，これだけの駒で好手をふんだんに盛り込む手腕は奇跡的です。

第 28 番　北原義治



持駒　なし

６一角成，４四歩，同香，３二玉，４三馬，２二玉，３三馬，２一玉，２二馬，同玉，４三香不成，３三角，同馬，２一玉，２二馬，同玉，４四角，３三角，同角不成，３二玉，２一角，同玉，２二歩，３二玉，４二香成まで25手詰

好手がこれでもかこれでもかのオンパレード。

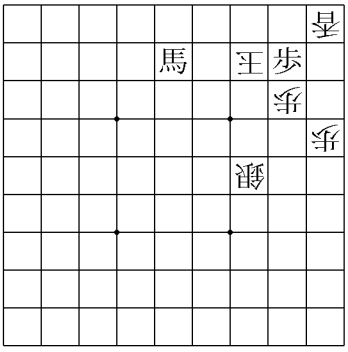
詰

柏川悦夫
野口文庫S50

手筋としての目新しさを売る構想型作家もすばらしいですが，柏川氏の偉大さは，普通の手として，新鮮味ある作品をつくるところにあるのではないでしょうか。

例えば，紹介した作品の龍捨て。なんとも，驚かされます。これは，是非，自力で解いてみなければ，わからないことです。挑戦してみてください。安易に答を見てしまうと，感動するチャンスを一つ失うことになりかねませんから。

第 29 番　柏川悦夫



持駒　飛銀香2

３四香，２二玉，３二香成，同玉，４二飛，３三玉，２二銀，２四玉，２七香，２六角，同香，同銀，４四飛成，１五玉，１四竜，同香，１六歩，２四玉，１三角まで19手詰

邪魔駒消去の序盤から間駒とじわじわと考えさせながら盛り上げておいて，なんとも新鮮な龍切りではありませんか。

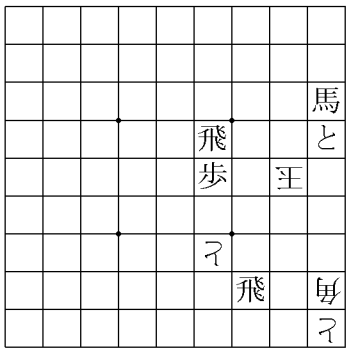
渓流

北川邦男
詰将棋研究会S59

北川邦男氏の遺作集です。構想型短編の名手で，オリジナリティはともかく，その完成度の高さと鋭い手順構成は，数多くの名作を産み出しました。

紹介する図も，森田氏の「春霞」第31番と比べて見るのも面白いかと思います。

第 30 番　北川邦男



持駒　香

２九香，２八歩，同香，２七角不成，３五馬，１六玉，３六飛，同角成，１五と，同玉，１四飛，同馬，１六歩，同玉，２六馬まで15手詰

２八歩は１八飛の防ぎです。続いての角の不成移動中合はこれぞ離れ業。

残影

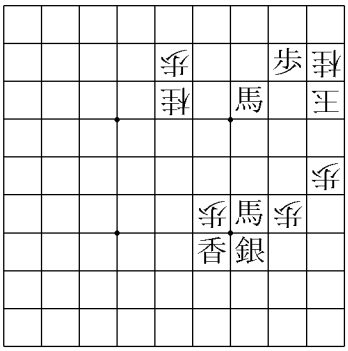
伊藤果
野口文庫S51

ここで紹介されている詰将棋の本のなかには普通の本屋さんで買うことが難しいものがあります。名の通った出版社のものは注文で入手できますが、それ以外は地方中小出版物流通センターでも取り扱っていないものが多いと思います。
最近のものは、千駄ヶ谷の**将棋会館**購買部(03-3408-6161)で入手できるものがあります。
それ以外は、**詰パラ編集部**(06-358-4449)に問い合わせてみると良いかと思います。
森田正司氏が発行しているものは、森田氏(0423-22-0764)に直接問い合わせれば入手できると思います。

伊藤果プロの若い頃の作品集です。荒っぽい作品もありますが，若さがきらきら光る作品集です。

伊藤プロの作品は，最近の軽い作品が私の好みなのですが，珠玉作もいくつかはいっているこの作品集も，時折開いて見る本の一つです。

第 31 番　伊藤果



持駒　桂2

２五桂，１四玉，３二馬，２四玉, ４二馬，１四玉，３三桂成，２四玉, ４三成桂，２三玉，３三馬，１三玉, ２五桂，１四玉，３二馬，２四玉, ４二馬，１四玉，３三桂成，１三玉, ４六馬，２四飛，２三成桂，同玉, ３三成桂，１三玉，２三成桂，同玉, ２四馬行，同桂，４三飛，１四玉, ２四馬，同玉，３六桂，１四玉, ４四飛成，２三玉，２四竜，１二玉, １三歩，１一玉，２一歩成まで43手詰　せっかく作った2枚の成桂を2枚とも捨ててしまう所が鮮やか。

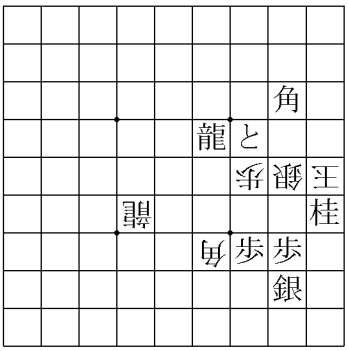
極光

上田吉一
将棋天国S56

現代の偶像，あこがれの詰将棋作家と言えば，この上田吉一さんです。先日，森プロと電話でお話した時も,「誰もが上田・若島は別格としてあこがれの対象としている。こんなことで，良いのだろうか。」と詰将棋界の今後への不安を語ってくださいました。

確かに，現代詰将棋の一つの究極を彼らは作り出してしまったのではないかと考えることもあります。彼らを越える新たなスタンダードを，新人の作家は産み出さなければなりません。さもなければ，結局，彼らの亜流として，落穂拾いに勤しむかです。

第 32 番　上田吉一



持駒　銀歩

１四角成，同銀，２四銀，２五玉，２六歩，同玉，３五銀，１五玉，２四銀，２六玉，２七歩，２五玉，４五竜，３五歩，２六歩，同玉，３五銀，１五玉，２四銀，２六玉，２七歩，１六玉，５六竜，３六角成，１七歩，２五玉，３六竜，同竜，１六角，同竜，３五とまで 31 手詰

ケイマの位置からの龍ソッポはよくあるが，これは大ケイマからの龍ソッポ。収束も鋭い切れ味。

恋唄

若島正

野口文庫 S58

上田氏の次に紹介するとしたら，若島氏でないとつりあいがとれない所でしょう。氏は詰将棋の神様を味方につけた天才です。

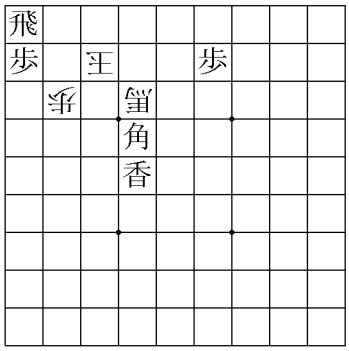
この珠玉のような作品集をなんと紹介したら良いのか，苦しんで苦しんで筆が止まってしまいました。

言葉はいらない。なんとしても，この「恋唄」は入手すべし。

これでは，使い古されていますし．．．。

文才のなさをつくづく思い知らされることであります。

第 33 番　若島正



持駒　銀２桂香

６一銀，６二玉，５四桂，同馬，７一飛成，同玉，８二銀，６一玉，５三角成，６三馬，同香不成，７二玉，６二馬，８二玉，７一角，９二玉，９三香，８一玉，９一香成，同玉，７三馬，９二玉，８二馬まで 23 手詰

さらっと馬の移動中合が出現します。収束も実に自然です。

華麗な詰将棋

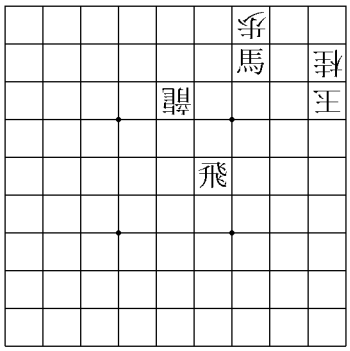
若島正

光文社文庫'93

続いて，一般書店でも入手できる若島先生の作品集。私はまとめて５冊購入しました。

内容は，易しいものから難解なものまでバラエティに富んでいます。主流は紹介する作品のように，少ない駒数で，解く分には簡単だけど，なんともうまく出来ていて，解いた後から，盤に並べて味わってみたくなる作品です。

第 34 番　若島正



持駒　角歩

４六角，３五桂，同角，２四桂，２五桂，１二玉，１三歩，１一玉，４四角，同竜，１二歩成，同玉，１三桂成，同玉，１五飛まで 15 手詰

総ての駒がしっかりとその役割を分担し，いきいきと仕事をしています。暇そうな駒が見当たりません。手順は典型的な積み崩し。

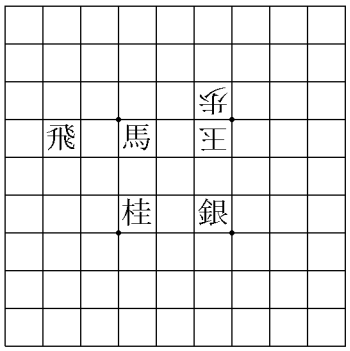
天才詰将棋

羽生善治
光文社文庫'93

光文社文庫の詰将棋シリーズの仕掛け人は，いったい何方なのでしょう。ただ者ではないことははっきりしています。

新聞詰将棋，羽生詰将棋，古典詰将棋，若島正，二上 500 題と，こう並べられるとは「まいった」というよりありません。まさに，詰将棋のフル・コースです。

第 35 番　羽生善治



持駒　なし

４二馬まで１手詰

１手詰ははたして詰将棋か否か...といった議論はひとまず置いておいて，楽しみたい作品です。

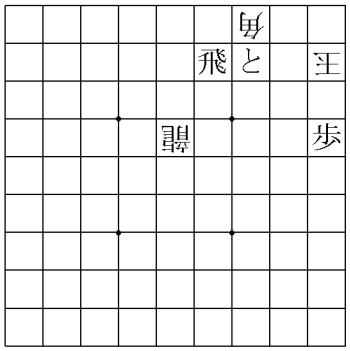
二上詰将棋

二上達也
光文社文庫'93

500 題のボリュームに満足感がある。第 1 章 1947～58。第 2 章 1959 ～63。.....という章建ても趣と迫力を感じます。

選んだのは二上流とは，ちょっと違うイメージの作品。骨っぽい作品はまた紹介する予定です。

第 36 番　二上達也



持駒　角桂 2

３三と，４二角，４五角，１一玉，２三桂，１二玉，３一桂成，４五竜，２四桂，１一玉，２一成桂，同玉，３二桂成，１二玉，２二成桂まで15手詰

４五角の限定打。この一手を味わう作品です。

赤城図式

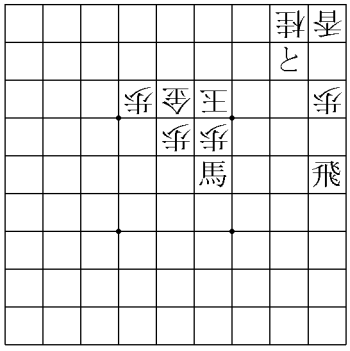
桑原辰雄

野口文庫S63

桑原辰雄氏の第１作品集は「妙義図式」。なのに，なぜこちらを（先に）紹介するのかというと，難解・豪快でならす氏の作品におじけづいて，手を出しかねているうちに，「妙義図式」は完売されてしまったからなのです。その後，再版されたので，急いで購入しましたが，未だ鑑賞しきれていません。

しかし，難解・豪快というのは，私の認識不足だったようです。桑原氏こそ，新鮮味を求めつづけるという詰将棋作家の王道をゆく人であるようです。そういえば，元祖「飛先の桂」は桑原氏でした。

第 37 番　桑原辰夫



持駒　角金桂

３四馬，同玉，４六桂，３三玉，３五飛，２二玉，３四桂，２三玉，４一角，３三玉，２三金，４三玉，４二桂成，同玉，３一飛成，同玉，３二金まで17手詰

飛車の利きを自ら遮って跳ぶ３四桂。

流星雨

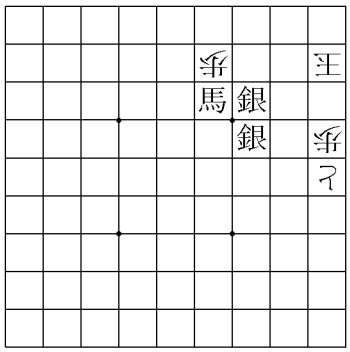
山田康平

将棋天国H6

若島正直系の弟子。数多く発表されるどの作品からも，才能の輝きを感じさせてくれるのは山田さんをおいてありません。簡潔な棋形から，合駒を含み，狙いくっきり，きれいな収束。あまりに，簡単に作られるようなので，もっと良いものを作れと不満を抱かれがち。しかし，これだけの水準の作品を量産する水源の大きさにはただただ脱帽する一手です。

願わくば，フェアリーやチェスに去っていかれることなく，詰将棋の新たな地平を切り開いていってください。

第 38 番　山田康平



持駒　桂４

２四桂，１三玉，２三銀成，同玉，３五桂，１三玉，１二桂成，同玉，３四馬，１一玉，２三桂打，１二玉，３一桂成，１一玉，２三桂不成，１二玉，２四桂，１三玉，２二銀不成，同玉，３二成桂，１三玉，１二桂成，同

玉, １一桂成 , 同玉 , ３三馬 , １二玉, ２二馬 まで 29 手詰

打っては捌く４枚の桂馬。

山崎隆作品集

山崎隆
私家版

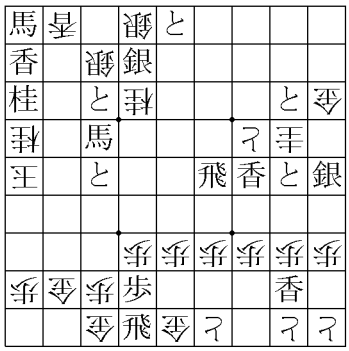
ここらへんでしばらく，ガリ版やリコピー版，コピー版，はては手製の作品集を取り上げてみようと思います。

作品集を出すには 100 題なりのまとまった作品と，資金が必要となります。しかし，それだけの作品を（習作は別として）作る作家はそれほど数多くはないし，それでも優れた作家は大勢います。

詰将棋のデータベース化も楽しみですが，作家の生の声が聞こえる小さな作品集が，もっとたくさん出てくれたら，と思います。

最初に取り上げるのは，ここの所めっきり名前を聞かなくなった大型作家，山崎隆さんです。氏の作品では「赤兎馬」が一番好きなのですが，このリコピー版の作品集にはまだ収録されていません。そこで，長編ですが，看寿賞授賞作品を紹介します。

第 39 番　山崎隆



持駒　なし

８五と , ９六玉 , ４六飛 , ８七玉, ６五馬 , ９七玉 , ６四馬 , ８七玉, ５四馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ３一馬 , ８七玉, ８六飛 , ９七玉 , ６六飛 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ５四馬 , ９七玉 , ６四馬 , ８七玉, ６五馬 , ９七玉 , ６七飛 , ９六玉, ６六飛 , ９七玉 , ６四馬 , ８七玉, ５四馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ３一馬 , ８七玉, ８七玉, ８六飛 , ９七玉 , ５六飛 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ５四馬 , ９七玉 , ６四馬 , ８七玉, ６五馬 , ９七玉 , ５七飛 , ９六玉, ５六飛 , ９七玉 , ６四馬 , ８七玉, ５四馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ３一馬 , ８七玉, ８六飛 , ９七玉 , ３六飛 , ８七玉, ３二馬 , ９七玉 , ４二馬 , ８七玉, ４三馬 , ９七玉 , ５三馬 , ８七玉, ４四

馬，９七玉，６四馬，８七玉, ６五馬，９七玉，３七飛，９六玉, ３六飛，９七玉，６四馬，８七玉, ５四馬，９七玉，５三馬，８七玉, ４三馬，９七玉，４二馬，８七玉, ３二馬，９七玉，３一馬，８七玉, ８六飛，９七玉，２六飛，８七玉, ３二馬，９七玉，４二馬，８七玉, ４三馬，９七玉，５三馬，８七玉, ５四馬，９七玉，６四馬，８七玉, ６五馬，９七玉，２七飛，９六玉, ２六飛，９七玉，６四馬，８七玉, ５四馬，９七玉，５三馬，８七玉, ４三馬，９七玉，４二馬，８七玉, ３二馬，９七玉，３一馬，８七玉, ８六飛，９七玉，１六飛，８七玉, ３二馬，９七玉，４二馬，８七玉, ４三馬，９七玉，５三馬，８七玉, ５四馬，９七玉，６四馬，８七玉, ６五馬，９七玉，１七飛，９六玉, １六飛，９七玉，６四馬，８七玉, ５四馬，９七玉，５三馬，８七玉, ４三馬，９七玉，４二馬，８七玉, ３二馬，９七玉，３一馬，８七玉, ８六飛，９七玉，６六飛，８七玉, ３二馬，９七玉，４二馬，８七玉, ４三馬，９七玉，５三馬，８七玉, ５四馬，９七玉，６四馬，８七玉, ６五馬，９七玉，６七飛，９六玉, ９七歩，８五玉，７四馬，８六玉, ９六馬，７五玉，７六歩，８四玉, ７四と，９三玉，６三飛成，同銀, ８五桂，同香，８二馬，同玉, ７三銀成，８一玉，８二歩，７一玉, ６一と，同玉，６二銀，５二玉, ５九飛，同と，５三金，４一玉, ５一銀成，同玉，６二成銀，４一玉, ５一成銀，同玉，９五馬，４一玉, ４二歩，３一玉，３四香，同成桂, ３二歩，２一玉，２二歩，１一玉, １二歩，同金，同と，同玉, １三金，１一玉，２一歩成，同玉, ３四と，２八と，３一歩成，同玉, ２三桂，２一玉，２二金，同玉, ７七馬，１三玉，２四と，１二玉, １一馬まで321手詰　飛車の連取りに馬ノコを組合わせた大作です。狭いスペースに収束のための駒を配置しなければならないので，作図はかなり困難。

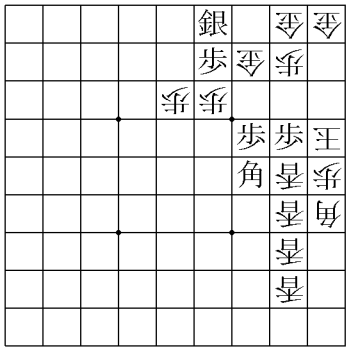
詰将棋歳時記

北村憲一
私家版

北村氏といえば詰将棋とマジック。詰将棋は軽くて楽しいものが多いですが，時々，罠が仕掛けられてあることもあるので要注意です。

この，私家版の紹介には作意がついていないことも多いので，詰手順は私の解答であることがあります。（下の図も，これから解く（^^;））間違えていたら，御指摘ください。

第 40 番　北村憲一



持駒　飛２

１三飛，同玉，２三歩成，同玉, ２四飛，１三玉，２五飛，２四桂, １四香，同玉，２四飛，１三玉, ２六飛，２四桂，１四香，同玉, ２四飛，１三玉，２七飛，２四桂, １四香，同玉，２四飛，１三玉, ２八飛，２四桂，１四香，同玉, ２四飛，１三玉，２五桂，同角, １四飛，同玉，２六桂，２三玉, ３二銀不成，同玉，４四桂，同歩, ３三金，３一玉，４三桂まで43手詰

楽しい香の連取り趣向。香をはがしたはずなのに手元に残るのは何故か桂馬というところが楽しい。

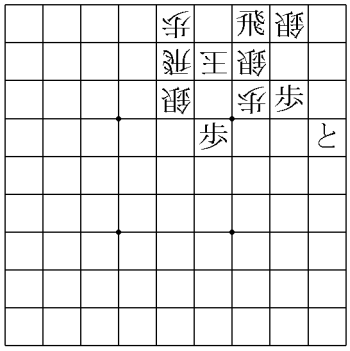
隅谷正春作品集

隅谷正春
私家版

隅谷さんは，専門誌にはまだ発表作はありませんが，かなりの数の詰将棋を作っています。文通で1作ずつ交換していたのですが，そのうち，まとめて手帳に書き込んで送ってきました。

その中から，1作紹介します。7手詰です。

第 41 番　隅谷正春



持駒　金2桂

3四桂，同歩，4一金，同銀，3三飛成，同玉，4三金まで7手詰

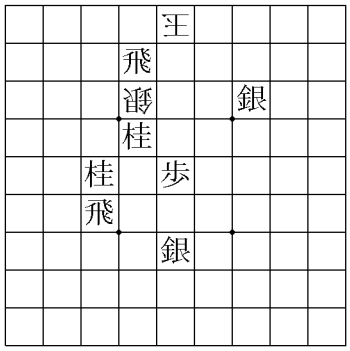
初手，3手目の手順前後の綾が命です。形はちょっと推敲不足。

アンドロマケー

タロサ
私家版

これは，門外不出の私家版自作品集の2冊目。詰将棋をはじめて1年目の頃にまとめたものです。100 番中まがりなりにも7作が活字になりましたので，私としてはまずまずの高打率と思います。

第 42 番　小泉潔



持駒　なし

4二銀不成，6二玉，6三桂成，同玉，5四銀，6四玉，5三銀引不成，5五玉，5六飛まで9手詰

捨駒も見当たらない原始的な習作です。年賀状に使用しました。

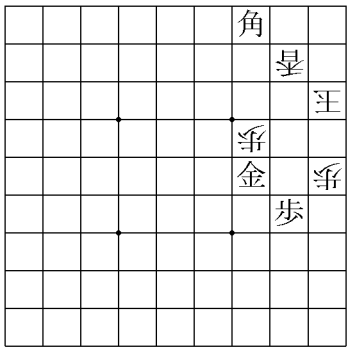
湯村光造作品集

湯村光造
私家版

簡素図式から新鮮な手順を産み出す湯村氏は好きな作家の一人です。最近は，打歩手筋の研究と実作であいかわらずの活躍は嬉しい所です。

手元にあるのは，湯村氏の作品を30局，あちこちから拾い集めた手製のリコピー版。作意が書いていないので，いまだに解答がわからないものもたくさん残っています。

第 43 番　湯村光造



持駒　角銀桂

２五桂，１四玉，２四金，同玉，１三角，１四玉，２三銀，同香，２四角成，同玉，１三角成まで 11 手詰

焦点にすべりこむ２四金の味は何度見ても良いものです。打った角を捌き捨てるセオリー通りのきっちりした造りの作品。

駒の時刻表

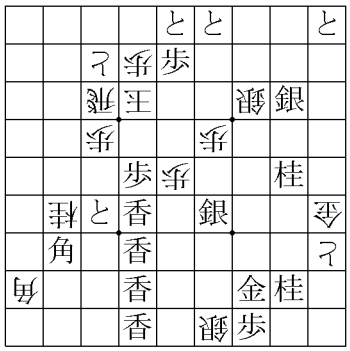
護堂浩之
私家版

就職だ結婚だと忙しい時期に，なにを考えたのか,「詰将棋の詩」というガリ版誌の印刷・発送を担当していました。（編集は，山本昭一さんでした）

しかし，毎度のことのように，発行の危機が訪れ，護堂くんには何回かガリ切りを手伝ってもらいました。きっちりしたガリ版用の文字を書いてくれる人で助かりました。

その文字で，盤面も解説もみっちりと書き込んで作られたコピー版の作品集です。自作に対する愛情と，自嘲の絡み合った解説が率直に書き込まれているので，読みごたえのある作品集です。

第 44 番　護堂浩之　「立川」



持駒　なし

６四歩，５三玉，６三歩成，４三玉，８六と，６五桂，３五桂，５四玉，６四と，同玉，６五香，５三玉，４三桂成，同玉，６三香成，６五桂，３五桂，５四玉，６四成香，同玉，６五香，５三玉，４三桂成，同玉，６三香成，６五桂，３五桂，５四玉，６四成香，同玉，６五香，５三玉，４三桂成，同玉，６三香成，６五桂，３五桂，５四玉，６四成香，同玉，６五香，５四玉，６六桂，５三玉，４三桂成，同玉，３三桂成，同玉，３四銀打，２四玉，１六桂，１五玉，１四銀成，同玉，６九角，５八香，同角，同銀成，２五金，１三玉，１四香，２二玉，１二香成，３二玉，２四桂まで 65 手詰

６九香の邪魔駒を消去するまでの長く楽しい道のり。

妖精館

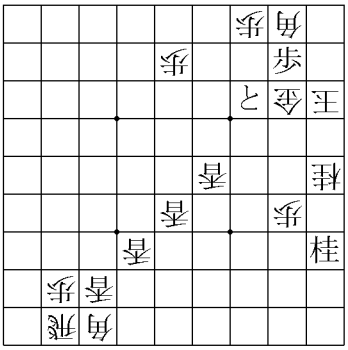
添川公司
私家版

彼が登場した時は驚きました。天才っている。実際にいる。最近は，煙詰ばかり作っているようですが，短編や中編，軽長編にもそれぞれ名作を産み出すオールランドプレイヤーの復活を楽しみに待ちます。

しかし，この表紙の妖精の絵も，彼が描いたのだろうか……。

第 45 番　添川公司

「宇宙のファンタジー II」



持駒　金3桂2歩6

１四金，同玉，２五金，１三玉，１四歩，１二玉，１三金，同金，同歩成，同角成，２四桂，同馬，１一金，同玉，２一歩成，同玉，２二歩，１一玉，１二歩，同玉，２一角，１一玉，２三桂，同馬，１二歩，同馬，同角成，同玉，１三歩，１一玉，２一歩成，同玉，５四角，３二角，２二歩，１一玉，１二歩成，同玉，４五角，２三桂，１四香，１三歩，２三角成，同角，２四桂，１一玉，１三香不成，１二歩，同香成，同角，同桂成，同玉，１三歩，１一玉，２一歩成，同玉，６五角，３二角，２二歩，１一玉，１二歩成，同玉，５六角，２三桂，１四香，１三歩，２三角成，同角，２四桂，１一玉，１三香不成，１二歩，同香成，同角，同桂成，同玉，１三歩，１一玉，２一歩成，同玉，７六角，３二角，２二歩，１一玉，１二歩成，同玉，６七角，２三桂，１四香，１三歩，２三角成，同角，２四桂，１一玉，１三香不成，１二歩，同香成，同角，同桂成，同玉，１三歩，１一玉，２一歩成，同玉，８七角，３二角，２二歩，１一玉，１二歩成，同玉，７八角，２三桂，１四香，１三歩，２三角成，同角，２四桂，１一玉，１三香不成，１二歩，同香成，同角，同桂成，同玉，１三歩，１一玉，２一歩成，同玉，９八角，３二角，１二歩成，同玉，８九角，同歩成，１三歩，同玉，１四飛，同角，同金，同玉，２三角，１三玉，２五桂，２四玉，３四角成，１四玉，１三桂成，同玉，２三馬まで149手詰

収束までこの簡素な舞台で片付ける，基本設計の素晴らしさ。

妻木貴雄作品集

妻木貴雄

私家版

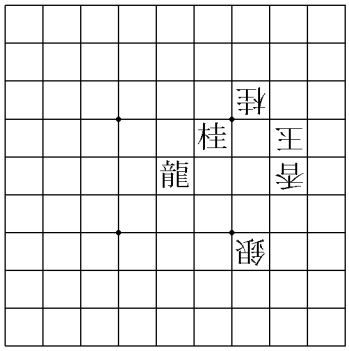
NHK 教育に出演中の「実験名人」の作品集です。私と小林君で作って，高校の文化祭で配りました。

詰将棋からは遠ざかってしまった妻木先輩ですが，いま読み直してみても，並みでない才能の持ち主であると改めて思い知らされます。

この小冊子には24局の作品が纏められていますが，その後，先輩は，4〜5局ほど発表したでしょうか。しかし，まだ，ノートには数十局の未発表（未完成含）作品が残っていたはずです。さらに，氏の脳髄にはどれほどの傑作・好作が埋もれたままになっていることでしょう。

ああ，もったいないことでございます。

第 46 番　妻木貴雄



持駒　角2金桂

３五角，１四玉，２三角，１五玉，２七桂，同香成，２四角，２六玉，１六金，３六玉，４五竜，同桂，１四角成まで13手詰

現代的な短編はこうやって作るものだと

計画では，個人の私家本作品集を紹介した後は，再び刊行された詰将棋の本の紹介に戻る予定でした。しかし，残念ながら，時間的に，もはや余裕が無く，ここまでで断念いたします。

ここ数年はよい詰将棋の本がたくさん出てきましたので，鑑賞も追いつかない状況だという事もあります。小林君から chess problem についても啓蒙されており，そちらも忙しいという状況もあります。

そういうわけで，この続きは「トスバッティング4」をお待ちください。

しかし，本屋で売っている詰将棋の本を何冊か持っていらっしゃるという方や，新聞の片隅に載っている問題を時たま考えてみるという方にとっては，この小冊子は多少のカルチャーショックを与えることができたのではないかと自負しています。

こんな詰将棋もあるのだということを初めて知った方が多いのではないでしょうか。

そうなんです。

本当に優れた詰将棋の本は，フツーの本屋には売っていないのです。

いうお手本のような作品。

村川純一作品集

秩父高校将棋同好会編

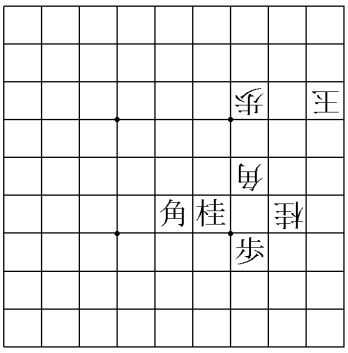
私家版

護堂君と妻木先輩の紹介をしたくて，私家版シリーズを書き始めましたが，最後になって，この村川純一さんを思いだしました。

村川さんは，山本昭一さんと並んで将来を嘱望された作家でした。始めは，短編。それから，曲詰。最後に長編趣向作で数作，好作を発表されました。

今は亡き，詰パラの主幹の家を訪れ，詩吟を披露したと言う話も覚えています。復活が待たれます。

第 47 番　村川純一



持駒　金2香2

１七香，１六金，１五香，同金，２三金，１四玉，２五金，同玉，４七角まで９手詰

中合を取らずに動かす。このテーマをくっきりと表現しています。

トス・バッティング 第 3 集

1997年11月11日

著者　　こいずみきよし
印刷製本　小岩四中将棋部